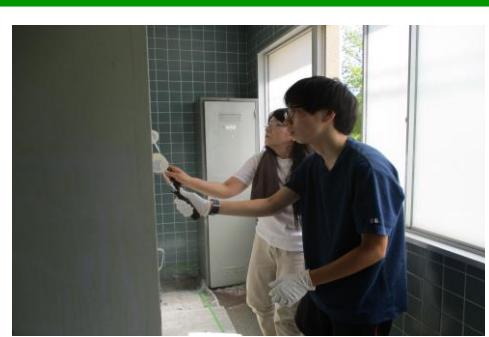




揺籃(ようらん)とは「ゆりかご」のことです。本校の校歌の一節に「霊の揺籃 わが母校」とあります。中条校は、生徒の皆さんにとって精神(魂)をすこやかに育む「ゆりかご」でありたいと思っています。

できました！できました！こんなこともできました！！

★長野西高校中条校の今年の夏はいろいろなものを直したい、つくたい！！「こんなことできたらいいなあ？」という生徒のみなさんのつばきから、全てがはじまりました。さてさて、どんなものができたのでしょうか？ちょっとその様子を見てみましょう！



★トイレのドアが美しく輝いています！★

まずはトイレ。トイレは毎日の清掃でピカピカに磨き上げているのですが、「ドアもピッカピカなら、もっと使い心地がいいよね！」という一言から、「それでは塗りあげちゃいますか！」ということに。生徒自ら行う環境整備事業にもとづいてペンキを大量に購入し、事務の太田先生のご指導のもと、36度にも達した夏休みの午後一気に塗りあげました。完成した真っ白なドアは、まるで『未来の世界への入口』のようです。



★西山大豆が背丈の半分ほどに成長してビックリです！★

お次は西山大豆。西山大豆は中条小学校、中条中学校の皆さんと一緒に育てています。種まきはそれほど暑くない6月18日に行いました。「暑い夏をこえてどのくらい伸びているかなあ？」という一言から1年生全員で見に行きましたが、途轍もなく育っていてビックリ！それ以上に伸びていたのが草、草、草。ご指導いただいている塩入正一さんとともに、西山大豆の更なる成長と大量収穫を願って一人一畝ずつ草と格闘し、畑をさっぱりさせてきました。秋の収穫が楽しみです！



★“ろくちゃんの森”の遊歩道も歩きやすくなりましたよ！★

もう一つ1年生のチャレンジから。7月にろくちゃんの森の学校に参加した生徒が「遊歩道が少し壊れていたけど…」と呟いたことから、夏休み明けの9月3日に遊歩道整備をおこないました。長野森林組合の皆様にご指導いただき、杭を運び、古い杭を掘り起こし、新しい杭をセットして掛矢で打ち込み、番線をつないで完成！ろくちゃんの森の入口の部分の十数段だけですが、なかなか見事な遊歩道が完成しました。中条道の駅にいったら、ちょっとろくちゃんの森にも入ってみてください。



★“中条みそマフィン”今年もふれあい祭りでお振舞い！★

最後は3年生のみそマフィンづくり。みそマフィンを考案した先輩にご指導いただき、「フードデザイン」の時間につくりました。味噌とクルミの配合に悪戦苦闘しながら約200個が完成。先生方が味見をして「今年もいけるぞ！」というお墨付きをいただき、出来栄のよかったものを9月9日に開催された中条ふれあい祭りで振る舞いました。皆さんのお口にあってでしょうか？あれ？食べてない？それでは次回も腕によりをかけて…次回はいつになるかわかりませんが、お楽しみに！